

埼社協第8460号
令和2年3月6日

各居宅介護支援事業所管理者
各介護保険施設長
各地域包括支援センター長 } 様

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
事務局長 横内 治

令和2年度ケアマネ大学（初任者コース）の実施について（通知）

本会事業の推進につきましては、日頃格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび標記研修を下記のとおり実施いたしますので、該当する職員の参加について御配慮くださいますようお願いいたします。

なお、本研修は介護支援専門員が実践的な知識、技能の向上を図る機会を提供するために開催する本会の自主研修です。

なお、本通知は、当会における令和2年度当初予算の成立を前提としております。正式な研修内容については、令和2年4月1日以降、当会のホームページを御確認ください。

記

1 目 的

ケアマネジメントは、「利用者の社会生活上のニーズを充足させるため、適切な社会資源を結びつける手続きの総体」とされています。この考えに基づき、利用者ニーズの多様化や様々な課題が生じている現在にあっても、介護支援専門員は利用者へのアセスメントを行い、把握したニーズの解決・達成に向けて一連のプロセスを実施しています。

本研修の対象となる介護支援専門員に置かれては、上記のケアマネジメントスキルの向上に加え、今後は、福祉現場、特にそれぞれの組織におけるマネジメント能力の発揮が必要となります。

本研修では、ケアマネジメントスキルの習得と併せ、今後、実務経験を経る中で、直面する課題（組織における人材育成、効率的な業務の運営）の解決に向けた取り組みを、参加者自身が、「聞いて」「見て」「話し合い」「体験し」、主体的に研修に取り組むことで、結論を導いていく場とします。

2 テーマ 「ケアマネジメントプロセスに沿った思考力を身に着けよう」

3 主 催 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会

4 対象者 介護支援専門員として業務につき、実務経験5年未満の方

5 定員 50名

6 期日・会場

※各日とも11時45分受付開始、研修時間は12時30分から16時30分です。

	日程	会場
第1日	令和2年5月10日(日)	埼玉建産連研修センター3階 大ホール
第2日	令和2年5月17日(日)	彩の国すこやかプラザ2階 研修室
第3日	令和2年5月24日(日)	彩の国すこやかプラザ2階 研修室
第4日	令和2年6月14日(日)	埼玉建産連研修センター3階 大ホール
第5日	令和2年6月21日(日)	埼玉建産連研修センター3階 大ホール

※原則として全5回すべての講義・演習に参加いただきます。

7 講師 峯尾 武巳 氏
(NPO法人 介護の会 まつなみ 副理事長)

8 内容 別添カリキュラム参照

9 参加費 22,000円

※受講決定通知に同封する振込用紙で、期日までにお支払いください。

※連続講座のため分割受講はできません。受講開始後、受講料の返金はありませんので御了承ください。

10 持参品 筆記用具

11 受講申込方法について

(1) 本会ホームページの電子システムからのお申込み(推奨)

埼玉県社会福祉協議会 介護支援専門員情報

(<http://www.fukushi-saitama.or.jp/site/welfare/care-information/>)

「ケアマネ大学」の申込みはこちらをクリックし、必要事項を入力して送信してください。

※受付完了後、確認メールが届きますので、必ず御確認ください。

(確認メールが届かない場合は御連絡ください。)

※変更やキャンセルも電子申込システムで手続きをお願いします。

(2) FAXによる申込方法 **FAX: 048-822-1449**

①別紙「受講申込書」に必要事項を記入し、送信してください。

②到達確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができませんので、FAXが送信エラー表示とっていないか必ず確認してください。

12 申込期間・受講決定

(1) 申込開始日: 令和2年3月6日(金)

申込締切日: **令和2年3月27日(金)**

(2) 受講決定について

令和2年4月10日(金)を目安に文書でお知らせいたします。

13 申込み・問い合わせ先

担当：研修開発部 ケアマネジャー業務課 (松本)

T E L : 048-824-3111 F A X : 048-822-1449

E-mail: cm-kensyu@fukushi-saitama.or.jp

※お問い合わせは、平日9時～17時の間にお願いします。

※番号をお間違えのないようお気を付けてください。

14 会場案内



埼玉建産連研修センター
さいたま市南区鹿手袋
4-1-7

JR武蔵野線・埼京線
武蔵浦和駅

下車徒歩約10分

東口にある「花と緑の散歩道(遊歩道)」を進み、高架下にコインランドリーがあるので、左折してください。



影の国すこやかプラザ

さいたま市浦和区針ヶ谷
4-2-65

JR京浜東北線

与野駅(西口)

下車徒歩約10分

影の国すこやかプラザまでは与野駅西口から徒歩10分くらいです。(約800m) 点線の→にそって歩いてください。

★改札口を出て左へ(西口側へ)階段を下ります

令和2年度ケアマネ大学カリキュラム(初任者コース)

【本講座で本会がめざすもの】

1. 次世代を担う、自立した優秀なケアマネジャーの育成
2. 知識を詰め込むだけでなく、楽しく、深く学べる空間の創出
3. 自ら課題を発見し、解決する力・姿勢の養成

本講座は、知識の習得はもちろんのこと、自由な雰囲気を受講生参加型の講座を実施します。そこで、同じ経験をしている受講生が、様々な経験や視点を交差させることで、受講生それぞれの気づきを促し、新しい視点や考え方を発見し自己成長を促すことを目的としています。

積極的に学ぼうとする皆様の参加を期待します。

	課 目	内 容
第1日	前半：オリエンテーション (研修の目的と方法の説明) 後半：アセスメントの目的と方法の確認 (ケアマネジメントプロセスの理解①)	利用者ニーズの多様化により、利用者等が面接場面等で、自身の困りごとを整理し支援を希望することは通常ありません。介護支援専門員に対し、サービスの必要性等を利用者・家族が訴える中で、問題や課題を整理・分析し、その複雑な要素を一つ一つ解決するためのアセスメントの目的と方法を確認します。
第2日	会議・カンファレンスを 効果的に運営する (ケアマネジメントプロセスの理解②)	会議は、組織を効果的に運営し成果を挙げるためには不可欠なものです。会議参加者は、自ら納得し、動機付けられたことにより能動的に取り組むことができます。利用者サービスの資質向上などについても一方的な命令や指示だけでは、実効性が上がりません。そのため会議を効果的に活用し職員が納得し能動的に業務に取り組ませるための技術を学びます。
第3日	現場における事例研究の必要性を 体験しよう ・提供者自身の成長を促す事例検討① 「様々な問題解決方法について学ぶ」	介護支援専門員が、個々の事例において、「自分がこの選択をしたのはなぜか」と自分に問い続けることは、自分の知識・技術や価値観などを見つめ直し、自らを成長させることに繋がることから、様々な事例検討の手法を学び業務に役立てます。
第4日	現場における事例研究の必要性を 体験しよう ・提供者自身の成長を促す事例検討② 「様々な事例検討法を理解する」	また、事例検討の大きな目的は、個々の介護支援専門員としての資質向上はもちろんのこと、専門職として専門性の構築を目指すことにあります。言い換えれば事例検討そのものが、介護支援専門員のレベルアップのための重要な育成システムであることからそれらの手法等を学びます。
第5日	現場における事例研究の必要性を 体験しよう ・提供者自身の成長を促す事例検討③ 「リフレクション手法を活用した事例検討」	